

2025年12月24日
株式会社すむたす

【実家じまいに関する意識調査】話し合いの実施率は32.5%と前回比較 微増も、親子間で温度差が明確に

～親の意識は「変化なし」、一方で子は「話しているつもり」。重要書類の保管場所、7割以上の子世代が「把握していない」実態～

AI査定で最短1時間でマンション売却価格がわかり、最短2日で現金化できる「すむたす売却」を提供する株式会社すむたす(本社：東京都中央区、代表取締役：角 高広、以下「すむたす」)は、年末年始の帰省シーズンに合わせて、実家の処分(実家じまい)に関する親子間コミュニケーションの実態について、親世代・子世代それぞれに対しアンケート調査を実施しましたのでお知らせします。こちらは2025年7月の調査に続き、2回目の調査になります。合わせて、司法書士監修のもと実家の相続・処分に必要な準備や作業についてまとめた「実家じまいのやることリスト2025年版」および経験者の「実家じまい体験談」も公開します。



実家じまい 親子間コミュニケーション 意識調査

【調査背景：「大相続時代」の到来&年末年始帰省に向けて】

団塊の世代全員が後期高齢者となる「2025年問題」を経て、相続や実家の処分は多くの家族にとって喫緊の課題となっています。

すむたすが2025年7月に実施した調査では、7割以上が「実家の処分について話し合ったことがない」という実態が明らかになりました。それから約半年が経過し、年末年始という家

族が集まるタイミングを前に、意識や行動に変化は見られたのか、今回は特に「会話の質」や「認識のギャップ」に焦点を当てて調査を行いました。

【実家じまいに関する親子間コミュニケーション意識調査】

■ 調査結果サマリー

- (1) 親子間の話し合いの実施率は32.5%。前回調査時（27.9%）から微増するも、依然として7割弱は会話なし。話し合わない理由は変わらず「まだ具体的に考えていない」がトップ
- (2) 親子間の意識ギャップ：「話し合いの頻度が増えた」と感じる子世代が半数に対し、親世代の8割は「変化はない」と回答
- (3) 準備への意識差：子世代は「不用品の整理」や「書類確認」を求めているが、親世代の7割以上は協力してほしいことは「特にない」と回答
- (4) 帰省頻度と「話し合いの深化」は比例しない
- (5) 重要書類の保管場所：76.4%の子世代が「把握していない」

■ 調査概要

実家じまいに関する親子間コミュニケーション意識調査

- ・調査方法：インターネットによる全国調査
- ・調査期間：2025年11月20日～12月6日
- ・調査対象：
 - ①親世代 60歳～89歳、子どもあり、持ち家、子どもと別居状態の男女111名（有効回答102名）
 - ②子世代 30歳～59歳、両親の少なくとも一方が存命しており別居状態の男女111名（有効回答110名）

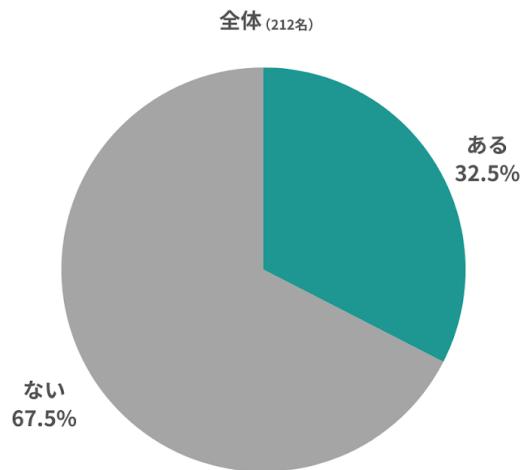
■ 調査結果詳細

- (1) 親子間の話し合いの実施率は32.5%。前回調査時（27.9%）から微増するも、依然として7割弱は会話なし。話し合わない理由は変わらず「まだ具体的に考えていない」がトップ

実家の処分について親子間で話し合ったことが「ある」と回答した人は32.5%でした。2025年7月実施の前回調査（27.9%）と比較すると4.6ポイントの微増となりましたが、依然として7割近くの家庭では話し合いが行われていません。話し合っていない理由としては、親世代（63.1%）・子世代（43.6%）ともに「まだ具体的に考えていないから」が前回同様トップとなりました。

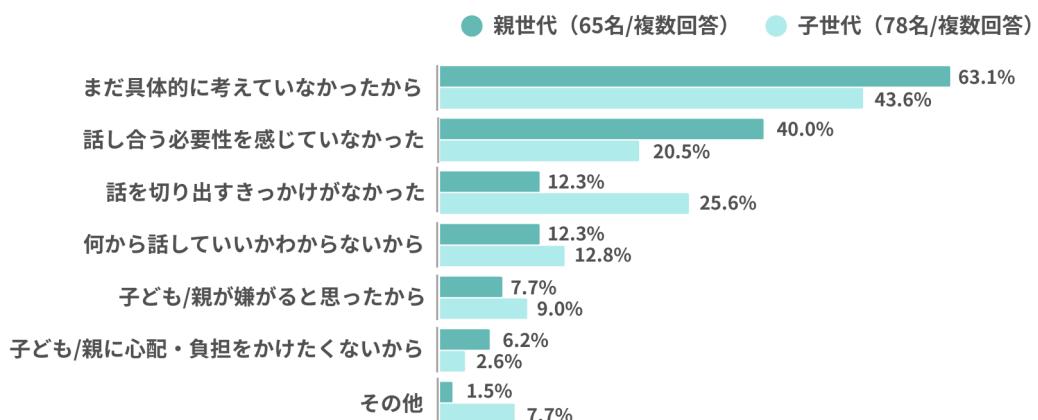
また、話し合いをした家庭における話題の中心は、引き続き「自身／親が逝去後の住まいの処分について（62.3%）」が最多となっています。

Q.自身の住まいの今後／実家の処分について親子間で話し合ったことはありますか？



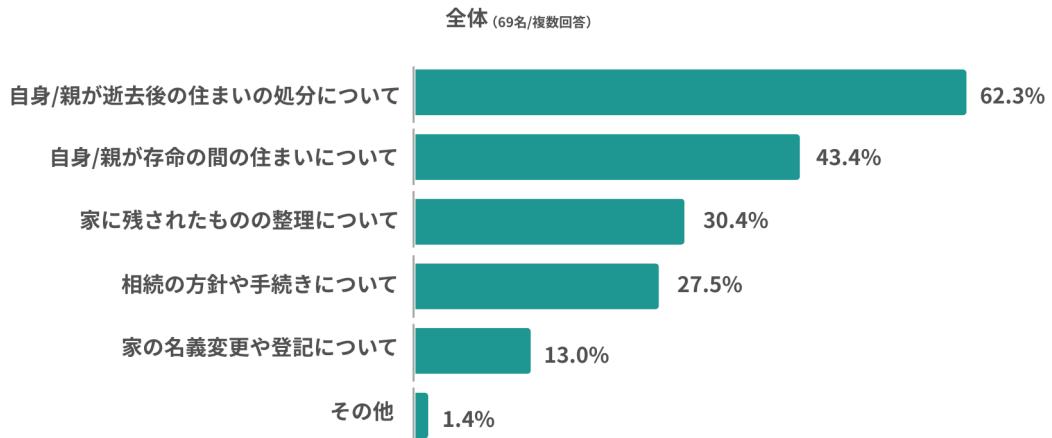
すむたす

Q.（話し合いをしていない方）これまで話し合ったことがない理由があれば教えてください



すむたす

Q. (話し合いをした方) これまで具体的にどんな内容について話をしましたか？

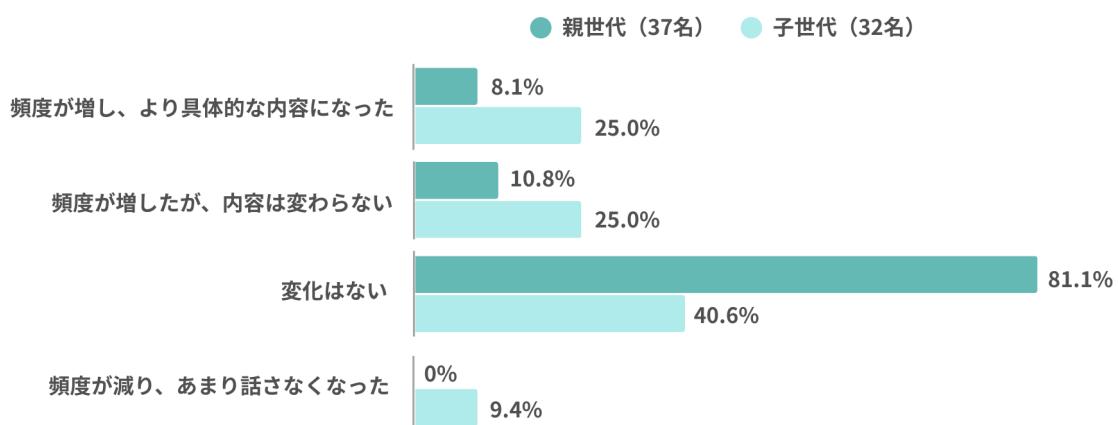


すむたす

(2) 親子間の意識ギャップ：「話し合いの頻度が増えた」と感じる子世代が半数に対し、親世代の8割は「変化はない」と回答

この1年での「話し合いの頻度や内容の変化」について尋ねたところ、親世代と子世代で認識に大きな乖離が見られました。子世代の約半数（50.0%）が「頻度が増した（内容の変化有無含む）」と回答しているのに対し、親世代の81.1%は「変化はない」と回答しています。子世代としては帰省等のタイミングで意識的に話題に出しているつもりでも、親世代にとっては「実家じまいに対する具体的な相談」として認識されていない、あるいは日常会話の一部として流れてしまっている可能性があります。

Q. (話し合いをした方) 話し合いの頻度や内容は、この1年で変化しましたか？

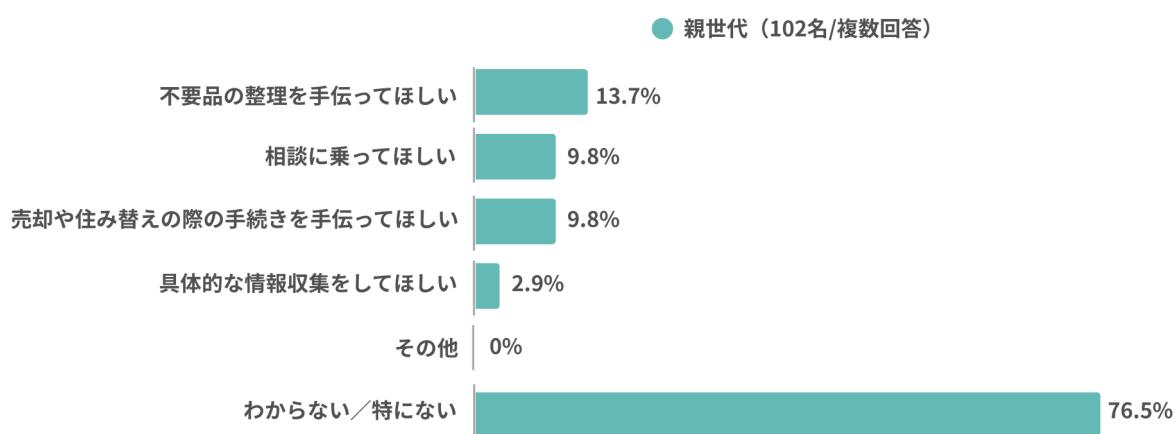


すむたす

(3) 準備への意識差：子世代は「不用品の整理」や「書類確認」を求めているが、親世代の7割以上は協力してほしいことは「特ない」と回答

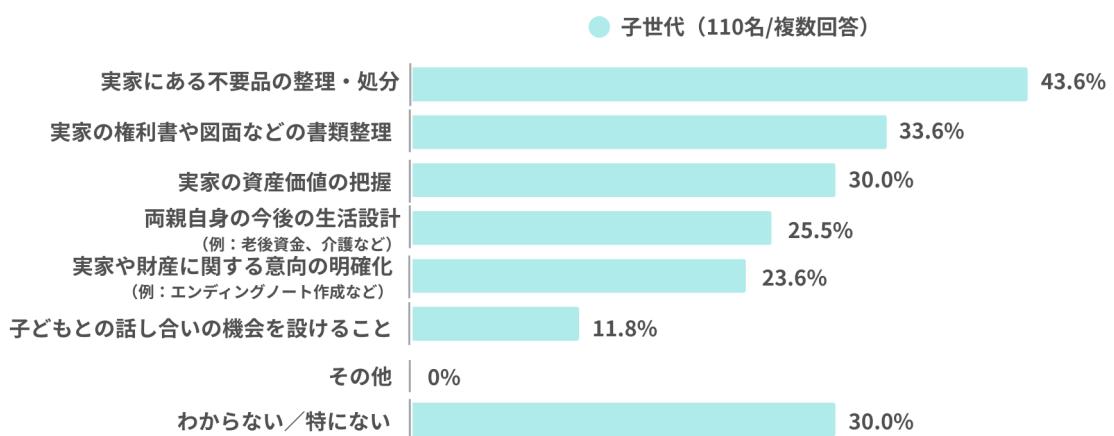
今後の住まいや処分について、親が子に協力してほしいことのトップは「わからない／特にない（76.5%）」でした。親世代は実家じまいについて、まだ身近な課題として捉えていない様子がうかがえます。対して、子が親に準備しておいてほしいことの上位は「不用品の整理・処分（43.6%）」「重要書類の整理（33.6%）」といった具体的な作業でした。子側は「親はまだ元気だから大丈夫」と楽観視せず、また親側も「自分にはまだ関係ない先の話」とネガティブに捉えず、あくまで備えとしてすり合わせが必要と言えます。

Q. お子さんに、ご自身の今後の住まいに関して協力してほしいことはありますか？



すむたす

Q. 実家の処分について、ご両親に準備しておいてほしいことはありますか

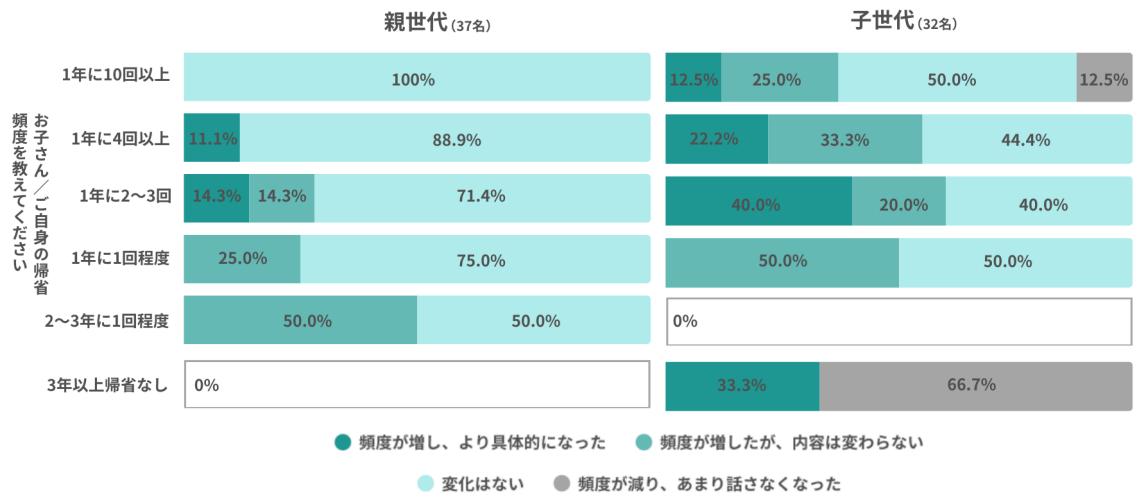


すむたす

(4) 帰省頻度と「話し合いの深化」は比例しない

帰省頻度別に話し合いの変化を分析したところ、年に4回以上帰省している場合でも、親世代の多くは「変化はない」と感じており、子世代も「頻度は増したが内容は変わらない」という回答が目立ちました。単に顔を合わせる回数が多いだけでは、実家じまいの話は進展しにくいことがわかります。「なんとなく話す」のではなく、意図を持ってしっかりと切り出すことが重要です。

Q. お子さん／ご両親と、住まいに関する話し合いの頻度や内容は、この1年で変化しましたか？

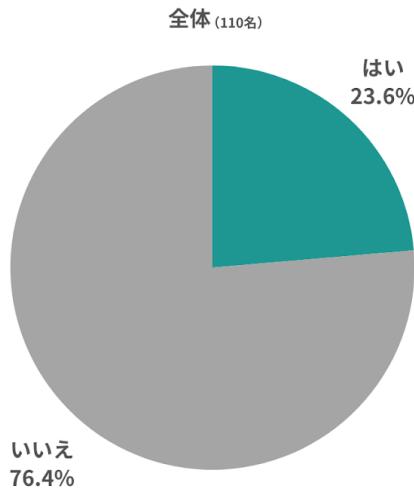


すむたす

(5) 重要書類の保管場所：76.4%の子世代が「把握していない」

実家の売却や相続手続きにおいて必須となる「権利書（登記識別情報）」や「実印」などの保管場所について、76.4%の子世代が「把握していない」と回答しました。いざ相続や売却が必要になった際、書類が見つからないことは手続きの遅延や紛失に伴うコスト増に直結します。不用品の片付け等はハードルが高くても、「大切な書類の場所だけは聞いておく」ことが、リスク管理として重要です。

Q. 権利書や印鑑など、実家にまつわる大切な書類等の保管場所を把握していますか？



すむたす

【「実家じまいのやることリスト」と「実家じまい体験談」を公開】

経験者や専門家の多くが「事前準備が大事」と口を揃える一方、生前に会話をすることが難しい「家じまい・実家じまい」というテーマ。準備を始める一助としていただきたく、相続案件の対応実績を多数持つ司法書士・久保慶介氏監修のもと、当社が過去取り扱ってきた

「実家じまい」案件を踏まえ、「実家じまい」において必要になる準備や手続きの概要をまとめた「実家じまいのやることリスト」を2025年版に更新しました。「実家じまい」経験者へのインタビュー記事と合わせ、全5ページの資料として公開します。

The collage includes:

- 実家じまいの「やること」リスト**: A list of tasks for estate management.
- 実家じまいの「やること」リスト**: A detailed list of tasks for inheritance preparation.
- 実家じまいの「やること」リスト**: Another view of the inheritance preparation tasks.
- 実家じまい体験談**: An interview article about inheritance management.
- エンディングノートの必要性を痛感**: An article highlighting the importance of an ending note.

本資料は、以下URLよりどなたでもダウンロードいただけます。年末年始帰省のお供に、ぜひご活用ください。

ダウンロードはこちら：

<https://prtimes.jp/a/?f=d38198-52-dd3b2968fb858e5e8c8d7878007735ab.pdf>

【すむたすがすること】

すむたすは「住まいの理想的な選択ができる社会」の実現を目指し、いつでも好きなタイミングで、適切な価格で、余計な中間コストがない、透明性の高い取引きを提供する不動産テックスタートアップです。

当社が提供する「すむたす売却 (<https://sumutasu.jp/>)」では、無料でマンション売却価格の査定が可能。最短1時間で、実際の買取価格を提示しています。「まずは価格だけ把握しておきたい」という方のご利用も多く、家じまい方針を検討する材料の一つとしてご活用いただけます。また、当社では自社直接買取により、以下の対応が可能です。

- ・内見対応不要、最短2日で現金化
- ・室内状態不問、散らかっていても荷物が多くてもOK
- ・査定～決済までオンライン対応可能、遠方住でもOK
- ・不要品は置いたままでOK、無料で処分
- ・司法書士や税理士と連携し、法的な手続きをサポート

相続案件も多数実績がございます。「まだ売るかどうか決めていない」という方も、オンラインでご相談いただけます。

【参考資料】

- ・「Sumutasu MAGAZINE」相続関連お役立ち記事

当社のWebメディア「Sumutasu MAGAZINE」では、相続に関するお役立ち記事も複数配信しております。合わせてご覧ください。

Sumutasu MAGAZINE 相続関連記事：<https://sumutasu.jp/mag/category/inheritance/>

・過去の相続関連調査

2024年8月公開：半数以上が「後悔」。実家じまい経験者調査、事前にしておくべきだったことトップ3は1位 処分費の確認、2位 親と一緒に片付け、3位 売却価格の確認

https://sumutasu.co.jp/posts/_RvPeXR5

2024年12月公開：【家じまいの意向調査】60代以上の約7割が家じまい方針について「子どもや親族と話せていない」が、「伝えておきたいことがある」

<https://sumutasu.co.jp/posts/jB7lorc>

2025年3月公開：【相続登記義務化の認知度調査】施行から1年、相続未経験者の認知度は3割未満。相続経験者の3割が「登記期限3年」を「短い」と回答

<https://sumutasu.co.jp/posts/rDnOUwA7>

2025年7月公開：【実家じまいに関する親子間コミュニケーション調査】7割以上が『話し合ったことがない』と回答。理由は「まだ具体的に考えていない」が最多

<https://sumutasu.co.jp/posts/SBo34Kpx>

【すむたすのサービスについて】

■ すむたす売却

AI査定などのテクノロジーを活用した新しいマンション売却サービス。
オンラインで最短1時間で売却価格がわかり、最短2日後から好きなタイミングで確実に現金化できます。
これまで多くのお客様から「無料で気軽に査定でき、好きなタイミングでストレスなく売却できる」とご好評をいただいております。
サービスURL：<https://sumutasu.jp/>

■ すむたす直販

リノベーションマンションが仲介手数料ゼロで買えるポータルサイト。
仲介会社を介さずに自分で探して、余計なコストをかけずにお得に購入できます。
サービスURL：<https://sumutasu.jp/buy>

【株式会社すむたす 会社概要】

- ・会社名 : 株式会社すむたす
- ・代表者 : 代表取締役 角 高広
- ・所在地 : 東京都中央区日本橋3丁目9-1 日本橋三丁目スクエア2階
- ・設立 : 2018年1月
- ・事業内容 : テクノロジーを活用した不動産買取再販・不動産仲介事業
- ・URL : <https://sumutasu.co.jp/>

【本サービスおよび、本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

- ・お問い合わせ先 : 株式会社すむたす 広報窓口
- ・Tel : 050-5785-2977
- ・E-Mail : pr@sumutasu.co.jp